

令和3年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 4 年 5 月 26 日 作成

事務事業名	公衆無線LAN整備事業	外部評価の状況	事務事業No.	142 - 1
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
行政経営部	業務改善・DX推進課	業務改善・DX推進担当	主査	仲村 暁	課長	中嶋 啓誠
施策体系	総合計画	政策	1	人権・市民参画		
		施策	4	情報共有の推進		
		基本事業	2	情報・通信基盤の充実		
	その他の計画	個別計画	飯塚市地域情報化計画			
根拠法令・条例・要綱等	なし					
事業開始年度	平成30年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	令和4年度	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	市民の利便性を向上するとともに、市からの情報発信力の強化と地域コミュニティの活性化を促進するため、公共施設を中心とした地域拠点に公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備するもの。					
対象	働きかける相手・もの	市民及び地域コミュニティ				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	公共施設へのWi-Fi整備を行う。また、設置したWi-Fiを利用してもらう。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	Wi-Fi接続時に各施設などの特定のサイトを表示することにより、市から積極的に伝えたい情報をより多くの人に発信することができるようになることに加え、地域拠点ごとに特色を生かした情報の発信が可能となることから、地域コミュニティの活性化に向けた活用を促進する。				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
Wi-Fi整備数	整備数	Wi-Fiを新たに整備する公共施設数	1	2	5
利用申請回数	回数	アクセスID利用申請延べ回数	172	248	300
各交流センター等への周知	回数	周知及び説明会等の回数	1	1	2

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
各拠点Wi-Fi接続回数	回	5600	5000	5300	5600
	方向性	達成目標年度	実績	4740	4882
各拠点Wi-Fi接続合計回数	増加	令和4年度	達成率	94.80%	92.11%
	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
各拠点の独自ホームページの設定数	拠点	16	13	15	16
	方向性	達成目標年度	実績	2	2
Wi-Fi接続後の各拠点の独自のホームページ設定数	増加	令和4年度	達成率	15.38%	13.33%
	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
アクセスIDを利用した教室等の回数	回	250	200	250	300
	方向性	達成目標年度	実績	172	248
Wi-Fiを長時間利用する場合のサークル等の利用回数	増加	毎年度	達成率	86.00%	99.20%

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

予算科目・事業	会計	01 一般会計	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 電算管理費	他 - 事業
	大	02 その他の電算管理費	中	08 公衆無線LAN整備事業費【政策】					
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)		
	正職員	0.33 人 2,601	0.28 人 2,295	Wi-Fiを2箇所設置したため整備委託料が増額となったもの。			0.30 人 2,459		
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	会計年度	1級フル	0.00 人 0				0.00 人 0	0.00 人 0	
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0	0.00 人 0	
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0	0.00 人 0	
	人件費計(A)	2,601	2,295				2,459		
事業費	直接事業費(B)	3,823	5,945				9,779		
	総事業費(A+B)	6,424	8,240	12,238					
直接事業費のうち の主な歳出内訳	整備委託料	2,657	4,834	9,371					
	通信運搬費	1,042	1,081	408					
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0	0					
	国・県支出金	0	0	0					
	市債	2,600	4,800	9,300					
	一般財源	3,824	3,440	2,938					
その他()									

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	飯塚市情報化計画に基づき公共施設を中心にWi-Fiを整備している。
	目的の妥当性	妥当	公共施設にWi-Fiを設置することにより市民の利便性の向上する。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	主に公共施設への整備である。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	市民の利便性を考慮するとWi-Fiの安定稼働が求められる。現在より導入費も含め安価で安定稼働できるWi-Fiがあればコスト削減はできる。
	負担割合の適正化	適正	市の公共施設へWi-Fiを整備している。
	手段の最適性	検討の余地あり	指定管理の施設については、指定管理者が独自に設置することも考えられる。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	未達成	接続回数は目標には届かなかったが90%以上達成した。
	上位施策への貢献度	貢献できた	飯塚市地域情報化計画の個別施策である。
	事業継続の有効性	ある	未設置の公共施設(新体育館及び各支所)に整備し、市民の利便性を向上する必要がある。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	接続時のリダイレクト画面に交流センター毎の特色のあるページ設定をすることで、地域拠点ごとに特色を活かした情報発信が可能となる。
一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	特になし

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

リダイレクト画面について、ホームページを独自で開設していない施設は市ホームページの施設紹介ページの設定を行った。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

【成果】	鯉田交流センター、二瀬交流センターにWi-Fi整備を実施。
【課題】	Wi-Fiの運用方法について、接続方法等周知・理解してもらう。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充 現状維持 縮小 休・廃止		④	②	①	評価区分	事務事業の方向性
			③	⑤			
	⑦					二次評価	①コスト・成果ともに拡充
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
コスト投入の方向性							

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	Wi-Fiの運用方法について課題等を整理し、運用方法のマニュアルを作成する。 Wi-Fi設置の希望調査を行い設置希望の施設を把握する。 安定稼働する安価なWi-Fi機器がないか情報を収集し、コスト削減に努める。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	令和4年度に未整備の公共施設(新体育館及び各支所)に整備を予定している。

評価変更理由	一次評価のとおりとする。
--------	--------------